

開催概要	
名 称	第 27 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
日 時	令和 7 年 6 月 13 日（金） 午後 2 時 00 分 ～ 午後 4 時 10 分
場 所	新潟市役所 ふるまち庁舎 4 階 402 会議室
委 員	中村 美香（特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部コーディネーター） 岩佐 明彦（法政大学 デザイン工学部 教授） 金澤 ゆかり（新潟日報社 企画総務局次長兼資産管理運営企画部長） 高松 智子（ユニバーサルカラープランナー協会 会長） 高橋 邦夫（特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長） 小沢 謙一（新潟商工会議所 理事・事業部長） 田中 雅史（新潟市中央区自治協議会 委員） 栗林 孝典（国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長）
事 務 局	新潟市（まちづくり推進課） 国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所
施設使用者	株式会社 スノーピーク
議事要旨	
■議題 1 報告事項 ・資料「2025 事業計画書（右岸）」、「左岸の利活用について」及び「利用者アンケート」について、事務局（新潟市）及びスノーピークから説明。 ・右岸は、キッチンカーの出店と新たに BBQ レンタルプランを予定している。 また、飲食出店は、6 月 21 日（土）から 9 月 23 日（火・祝）で実施予定。 ・左岸は、利用料は原則無料としているが、都市公園区域は別途公園占用料がかかる。昨年度の利用件数は 2 件。 ・利用者アンケートについて、「にぎわい創出・魅力と価値の向上・取組の持続可能性」という観点で実施予定。 ●委員からの主な質問・意見と回答 （右岸） ・新たに始める BBQ プランは、具体的にはどの辺りで行えるのか？ →アウトドアラウンジ内に位置するイベントエリアで行う。 ・BBQ プランが始まると、全ての道具を個人で持ち込む人が出てきそうだが大丈夫か？ →事業区域内は巡回しているためそのような利用が見受けられれば止める。 ・この事業区域なのでこのような火気を使った行為などができるという特殊性を上手く盛り込みながら宣伝したら良いと思う。 ・どこでも火気を使ってよいと誤解されないようにやれる場所を限定していただきたい。 ・近場の市民が繰り返し訪れるような、そういうものをミズベリングは目指していると思う。この夏に何度も行きたいと思えるように満足度を高める必要があるが、それをしっかりと捉えている計画だと思う。飲食店についてはスノーピークの直営ではないので、管理・ご指導をお願いしたい。 ・BBQ プランをイベントスペースで実施するとのことだが、他のイベントは同時に実施できないのか。	

→昨年度に比べてイベントスペースを広く確保したため実施可能。

- ・ BBQ プランは飲食店と競合しないか、出店者と調整が済んでいるのか？

→食だけではなくアウトドアをやってみたいという客層を狙っており、飲食店舗とは認識のすり合わせはできている。

- ・ スノーピークのテーマが「人生に野遊びを」とあるが、ミズベリングは加えて「水遊び」も是非盛り込んでもらいたい。河川管理者との兼ね合いもあると思うがこの辺うまく色々やっていただきたい。

→9月に防災月間があり。防災の面から川に入っていただく体験を考えている。

利用者が減ってくる9月のタイミングに防災月間が重なるため、ミズベリングに来た人に別の体験が提供できるようなイベントもやりたいと考えている。(信濃川下流河川事務所が回答)

- ・ サービスのクオリティの点からの意見だが店舗へ予約の連絡をしようとしたが何度も繋がらないことがあった。

→出店者へ周知したい。

- ・ サービスのクオリティについて管理体制としてどのような具体策をやるのか？

→イメージ写真との乖離が生じないような是正を先ずは行いたい。

- ・ 新潟県産材などPRできるような対応はできるものか？

→出店者会では伝えているが、強制はできないため可能な範囲で普及したいと考えている。

- ・ ミズベリングで提供している食材を使って写真を撮り SNS に載せるようなイベントがあっても面白いのではと感じた。
- ・ 朱鷺メッセにコンサートに来るファンの方々を取り込むために、情報発信して宣伝すると集客に繋がると思う。
- ・ 雨の日をいかに楽しませるかという課題にも、是非チャレンジしていただきたいと思う。
- ・ アウトレットはかなり魅力的なのではないかと思う。商品に対するあこがれを持っている方が多いのと、海外でも新潟にはスノーピークがあるよねって聞かれることがあるので、ここでしか入らない商品も、是非販売して集客していただきたいと思う。

(左岸)

- ・ 左岸の案内ページを見るとハードな内容(表現が難しい説明)が書かれているため、HPを見て左岸を利用してみたいと思われるような工夫が必要だと思う。
- ・ 手続きには日数がどのくらいかかるのかなど情報が掲載されればアピールできると思う。
- ・ 左岸は地味な印象があると思うが、実は左岸から右岸を見るのが、一番お洒落なはずだと思っている。左岸で出店できることがあまり知られていない部分もあると思うのでいろんな方にお声がけ、皆様のお力添えをいただきながら、是非使えるよという言葉をお知らせいただけたらと思う。

(アンケート)

- ・ 出店者へフィードバック出来て、次年度も是非出店したいという希望が取れるくらいの内容になるように、アンケートを仕上げていただけると良いと思う。
- ・ アンケートは、1枚で収まったほうが回答者としてはやりやすいのではないかとと思う。

■議題2 今後のスケジュール

- ・ 資料「今後のスケジュール」について、事務局(新潟市)から説明
- ・ 本市のミズベリングの開催が令和8年度に10周年となる。次回の開催に向けた取り組みについて、

委員の皆様からも、アイデア・アドバイスをいただきたい。

●委員からの主な質問・意見と回答

(10 周年)

- ・何故この低勾配の緑の芝の堤防ができたのか、それをどうやって維持管理しているのかということについて、誰が仕掛け人でこんな素敵なものを作ることになったのかという、新潟バイパスに次ぐ、このやすらぎ堤の歴史を伝えた方が良いと思う。

そこにまつわるまでの、どんな経緯があって、どういうふうにして出来てきているのか、ということも含めて、信濃川というのと、やすらぎ堤というのと、それからアウトドアラウンジというものを繋げた物語を、きちんと作って発信するというのは、10 周年にしたら良いのではないかと考えている。そしてそれが、次年度以降に繋がるレガシーになるというふうにシナリオを作っても良いかなと思う。

- ・動画やイラスト、マンガなど多様な手法で作るもの良いと思う。
- ・ミズベリングの写真コンテストはこれまでやったことが無いと思うが、SNS で良い写真、例えば萬代橋をバックに BBQ で美味しいよといった、来場客が見せ合えるようなミズベリング写真コンテストをやってもらいたい。
- ・10 周年のクラウドファンディングを立ち上げて課題にアプローチするのもありかと思う。

■その他

- ・10 周年に向けた意見照会を事務局から各委員へ改めて依頼させていただく旨を事務局から説明。